

むぎの郷

通信

“麦の郷とは” 住民のニーズから
生み出され、住民の手によって育てられる

September 2022

ソーシャル ファーム ビネル/くろしお作業所/麦の郷訪問看護ステーション/麦の郷居住福祉事業所/はぐるま共同作業所/はぐるま共同作業所 和の社/はぐるま共同作業所 ラ・テール/麦の郷印刷/障害者就業・生活支援センター つれもて/麦の郷 和歌山生活支援センター/麦の郷紀の川生活支援センター/ハートフルハウス 創/むぎピース/サポートセンター「麦の郷」/こじか園/第二こじか園/ソーシャルファームもぎたて/Po-zkk/六星舎/叶夢向/創cafe/事務所/麦の郷障害者地域リハビリテーション研究所

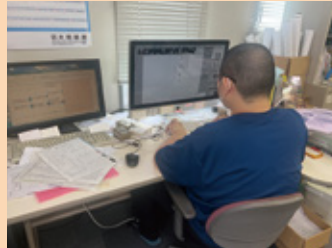
揮毫：伊藤静美

発行/麦の郷情報管理委員会
〒640-8301 和歌山市岩橋643

TEL(073)474-2466 FAX(073)474-4637
<http://www.muginosato.jp>



麦の郷印刷



編集

お客様からお預かりした
原稿を形にします。
デザイン・レイアウト・
テープ起こし・イラスト
作成など。



印刷

名刺・カード・封筒・
パンフレット・伝票・
賞状・文集・報告書・
書籍など様々な印刷に
対応しています。



校正

文字等の間違いがないか
チェックをします。



加工

断裁・ミシン入れ・穴あけ・糊付け・丁合・製本…
平面の印刷物を立体へと変えていきます。



配送

出来上がった印刷物の
配送や原稿の引き取り
に、北は泉南、南は紀中、
東は橋本、和歌山市を
中心に安全運転で伺い
ます。

私たちのめざすもの ~麦の郷4つの理念~

- 1).麦の郷は、日々学び、育み、発信し続ける人材を育成し、地域福祉の発展を目指します。
- 2).私たちは、ものづくりを通じて障害のある人と地域の共存を実現し、互いに豊かになる実践を目指します。
- 3).私たちは、社会的不利の状態におかれている人々の課題を解決するために、広範な人々をつながりをもとめ、ともに社会変革をめざします。
- 4).麦の郷は、全ての人々が平和で安心して暮らせる社会づくりのために人の輪を紡いでいきます。

2022年度 麦の郷 新人職員研修



6月29日(水)と7月14日(木)の二日にわたり法人の新人研修を行いました。講師は麦ピース施設長 鈴木悦子さんと麦の郷印刷施設長 岡崎宏江さん。参加者のみなさんのレポートからはお二人のパワー溢れるお話に励まされたり、自分の実践を振り返る良いきっかけになっていただけましたように感じました。お二人の講義はこどもの保育や成人の労働の場など、どの現場にも境のない大切なことを伝えてくれたようです。みなさんのレポートすべてをご紹介できないのが残念ですが、一人ひとりが感じ取っていただいたことは私たち麦の郷全体の成長につながると確信しています。すべてのなかまと、私たちすべてのスタッフは同じ目標に向かって力を合わせる同志であり、働く場では同僚です。そんな大切なメッセージをお二人からいただいたのではないのでしょうか。以下に参加者を代表してレポートをご紹介します。

(麦の郷教育研修委員会 浦口 郁子)

研修を受けて～麦の郷の一員としての私

私は今まで一般企業の事務職しか経験がなく、初めての職種でしかも係わったことのない福祉施設。何もかも初めての経験で戸惑う毎日です。今はまだ、時間までに給食を作り上げる。そのことに集中しています。

一日目 鈴木悦子さん、二日目 岡崎宏江さんの研修を受け、福祉施設のことを考える機会を与えてもらいました。研修を受け、誰もが安心して暮らせる社会を目指していくために、地域社会や地域住民との共同・連携、人と人とのつながりを大切にしていくことが、いかに重要なかが分かりました。また、豊かな生活を築いていくためにも、広い視野を持つこと。そして、人はお互いを助け合いながら生活をしていることを忘れずに、自然な気持ちで向き合うことなどが、大事で

あると思いました。

麦の郷は貧困や差別のない、誰もが平等な社会を作るために、挑戦する気持ちを持つ集団であり、その集団の一員として、広範な人々との繋がりを深め、課題の解決に取り組んでいきたいと思えます。そして一人ひとりが学び、互いに成長できるような日々が送れるように、日々の支援を大切にしていきたいと思えます。

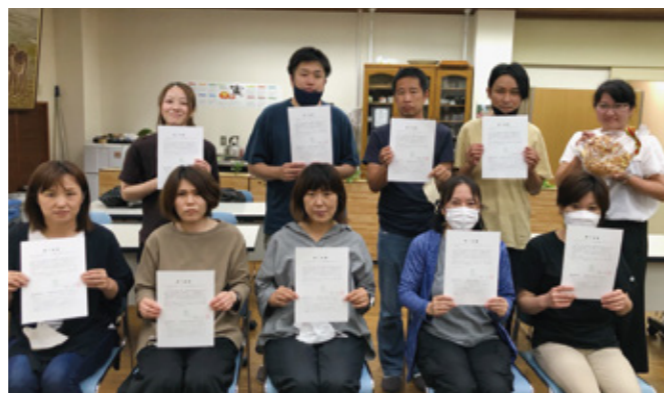
また障がいを持っている人たちも、生活のこと、親のこと、家族のこと、お金のことなど、色々なことを考えながら生活しているのだなと思えました。

メンバーたちの力になるために、共に向かい合い、困ったことがあったりしたら、気軽に相談を受けられるような関係を作っていきたいと思えました。

そして、問題について一緒に考えていけるような人を目指していきたいです。そのためには、現場での声を大切に聞くことや、意見を聞き取り入れること、みんながフラットに意見の言える職場作りなどを大切にしていこうと思えました。

麦の郷の目指す障がいのある人たちが、より豊かに生きることができ、社会や地域づくりに向けて、私はその一員として自分は何ができるのかを考え、行動していこうと思えました。

(はぐるま共同作業所 中村 直美)



ヤギプロジェクト・スタート!



ソーシャルファームもぎたてと紀ノ川農協の新たなノウフク連携事業「ヤギプロジェクト」がこのたび始動しました!紀ノ川農業協同組合が運営するファーマーズマーケット「紀ノ川ふうの丘」(和歌山県紀の川市平野 927)の新しい観光スポットとして、かわいやぎたちとの触れ合いを通してお客様との楽しい交流の場づくりに取り組みます。2匹のヤギ(1歳オス)たちはとても人懐っこく、大阪府にあるワールド牧場からやってきたその日から草をモリモリ食べて元気に過ごしています。ヤギのいる飼育エリアは木々が生い茂っているので小鳥のさえずりがよく聞こえ、山から降りてくる風が心地よい場所です。2匹の名前は公募し約3週間で総数230件の応募があり、プチ柄は「風丸(かぜまる)」、白は「和歌(わか)」と命名されました。ぜひ、遊びにきて名前を呼んであげてください~返事をします(笑)

(ソーシャルファームもぎたて 中原 力哉)

介護保険と障害福祉サービスのちがい

6月9日(木)、高齢協の小長谷氏を講師に招き、「仲間の高齢期支援について考える」というテーマでわされん第2ブロック主催の研修会がありました。障害のある仲間は、障害福祉サービスを利用して生活を送っていて、そういった中で「65歳問題」と呼ばれている課題があります。障害福祉サービスを利用している障害のある人は、65歳を過ぎると介護保険に移行しなければならない場合があります。そうすると、自己負担が増えてしまったり、サービスの内容が変わってしまうことで不便になることもあります。今までの暮らしに大きく影響を与えられてしまうこととなります。改めて、制度を学ぶことで、新たな気付きや矛盾点などを知る機会になりました。

(くろしお作業所 道幸 美也子)

待ち望んだスポーツ大会、3年ぶりに出場しました!



5月29日(日)約3年ぶりに第22回和歌山県障害者スポーツ大会が開催されました。くろしお作業所からは2名の仲間が出場しました。結果は宮本高志さんが立ち幅跳びで金メダル、松本和晃さんが100メートル走で銀メダルでした。2人ともこの日をずっと待ち望んでいたもので、本当に嬉しかったと思えます。始まる前の緊張した表情、終わった後のにこやかな笑顔、とっても素敵でした。宮本さん、松本さん本当にお疲れさまでした。メダル獲得おめでとうございます!

(くろしお作業所 川崎 愛香)

* むぎ・わくわくレポート 18 *

地活で素敵だと感じたこと

地活(地域活動支援センター)で過ごしていると、メンバーの皆さんは職員のことをよく見ているなあと感じることがあります。例えば、髪を切った職員がいると、「〇〇さん、髪切ったな」と言ってくれる方が多いのです。他にも、暑くなり半袖を着ていくと「最近半袖やな」と気付いてくれます。以前の職場では、そんな風に声をかけてもらうことはそれほど多くありませんでした。わざわざ言う必要のないと思うのかもしれませんが、周囲の人の変化に、なかなか気づけないのかもしれないですね。振り返ってみると、私自身、周りの人の変化に気づけているか自信がありません。でも、やはり気づいてもらえると嬉しいものです。私もメンバーの方々のように、周囲のことをよく見て、小さな変化にも気づける人になりたいと思えます。

(紀の川生活支援センター 行年 詩織)

むぎピース作品展

8月1日(月)~8月31日(水)

作品アート展

なかまの echo 作品展

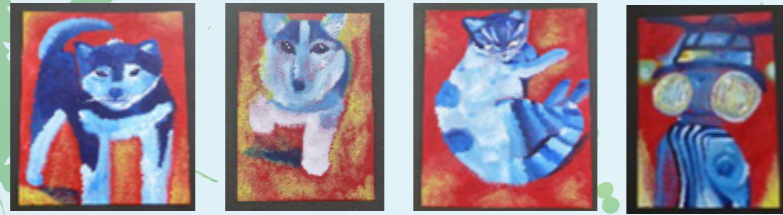
6月16日(木)~6月30日(木)



「朝食の時はおいしい」
小谷 一夫

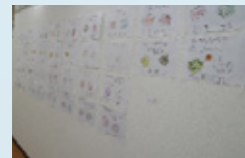


「子どもたちと
あそびたいおまご
ランチBOX」
北山 佳子

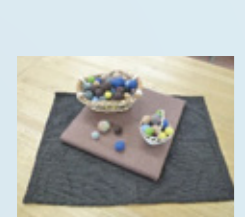


「りりしい柴犬」「さよならコーギー」「わたしたちの猫」「バイクメン」
池宮 弘登

テーマ わたしのしごとは



「昼食メニュー
のお知らせ」
雑賀 沙矢加



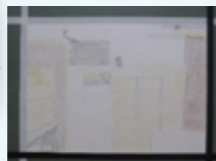
「フェルトボール」
前田 佳代子



「こんな可愛い
くらげならイイな。」
前田 佳代子



島本 由美



阪口 鉄哉



西本 真隆



小谷 一夫



則岡 佳子

紀の川生活支援センター作品展

8月30日(火)から9月2日(金)に山崎邸(創カフェ)にてみんなの作品展を開催しました。出展した作品の一部をご紹介します。



干支のバースデーハットづくり

段ボールで干支のバースデーハットを作りました。みんな自分の干支の帽子をかぶり、誕生会には記念写真を撮ってお祝いしています。干支の動物のかわいい表情を見て下さい。



あじさいアート

みんなで6月のあじさいの壁飾りを作りました。お花がみをまるめて、みんなで少しずつ作成しました。きれいな色彩と季節感を見てください。



塗り絵

「想像力」いけみい 「トウガラシ」香
和歌山生活支援センター

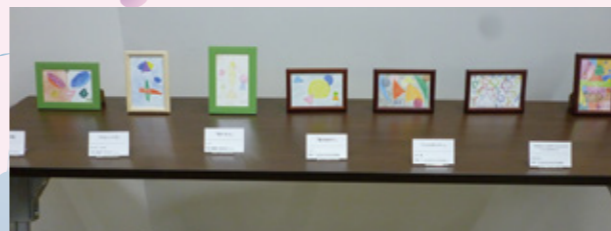


スクラッチアート

「ツルとキングヨ」
和歌山生活支援センター
クロユキ



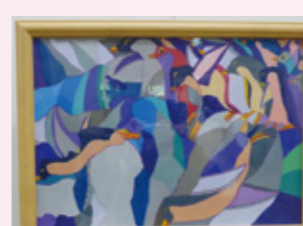
「ペンギンちゃん」
前髪がポイントです
和歌山生活支援センター
殿垣内 能範



和歌山生活支援センター
「〇△アート 小」



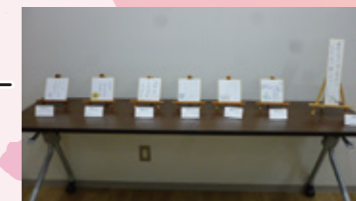
「春と言えば」
和歌山生活支援センター
矢野 美優



「勇気」
和歌山生活支援センター
澁田 大輔



「たんじょうびかい」
誕生日会ってみんなに伝わったかな？
展示観に行きました。みんな個性があって良かったです。
むぎピース 東 容子



むぎピース
和歌山生活支援センター
俳句 短歌



紀の川生活支援センター
合同作品
「こいのぼり」
地活の利用者の皆さんで作りました。



むぎピース合同作品
「〇△アート 大」



左「おばけフォーク」 右「リフティング」
むぎピース 池宮 弘登



「ちゅーりっぷ」
はじめて描きました。
展示観に行きました。
良かったです。
むぎピース 則岡 佳子



「ひかり」
むぎピース
きたやま よしこ



「ぼくのおかあさん」
むぎピース 広瀬 亘

歴史探訪と埴輪づくりへ ～紀伊風土記の丘～



つれもてでは、一般企業に就労している方を対象に交流会を開催しています。7月14日(木)に紀伊風土記の丘で、埴輪づくりをしました。油粘土とは違い、土粘土は乾いてくるとひび割れるので水をつけながら少しずつ形にしていけます。完成をイメージしながら作るのは難しかったですが、個性ある作品が出来上がりました。

(障害者就業・生活支援センターつれもて 松岡 裕子)

岡山県の施設とZOOMで交流会♪



7月4日(月)に岡山県の高齢者施設とZOOMで交流会を行いました。他の地活とのZOOM交流会は経験がありますが、高齢者施設、しかも県外となると、職員もメンバーさんも初めて!ドキドキでしたが、お互いの地元の紹介と方言クイズを行い、楽しく交流できました。(紀の川生活支援センター 行年 詩織)

白浜アドベンチャーワールドに 行って来ました



昨年9月に白浜アドベンチャーワールドへ行く企画をしていましたが、コロナ感染症拡大でやむなく中止。暑いかもしれないけれど7月に再度企画をしました。

なかま・ボランティアさん・スタッフの22名の参加でした。和歌山県の福祉バスと後続車の2台で出発。感染対策として、バスの座席2人分のところ1人で座るようにしました。

現地では4グループに分かれて行動をしました。それぞれのグループで行き先を話し合い、短い時間の中で思い思いのアドベンチャーワールドを楽しんでくれたように思います。

私自身初めての1日レクなので手伝ってもらいながらの手続きや準備でした。正直いうと事前準備は大変でした。でも無事に帰ってきて『楽しかった』『また行きたい』と聞くとやっぱりうれしいし、またみんなで行きたい!と思いました。

(和歌山生活支援センター 濱田 麻里)

～ANEW農園へポズックメンバーをご招待～ じゃがいも収穫&ジャガバタ&ミニBBQ



ANEW農園で栽培したジャガイモをANEWメンバー3人とポズックメンバー7名で収穫し、その場で炭火焼きにしました。せっかく火をおこすのだからと言うことで、とれたてニンニクもホイル焼きに!!肉も欲しくなってウイナーも焼いちゃいました～

いま、いっぱい蔓を伸ばして「さつまいも」が育っているので秋にはさつまいもパーティーを検討中!

(ANEW 野中 康寛)

むぎピース&麦の郷和歌山生活支援センター 「おひろめ会」



2月末に、たくさんの方々のご支援を頂きまして、三沢町の新しい建物にて事業をスタートすることができました。ようやく環境も整い利用してくれているメンバーたちも快適に過ごせる状況になり、6月18日(土)に「おひろめ会」を開催しました。雨の予報でしたが、何とか持ち堪えて滞りなくできました。1部では「ご挨拶」として完成を喜び合い、2部では二胡の演奏会で、会場はリラックスした雰囲気にもまれ心地よい時間を過ごしました。

皆さま、近くにお越しの際は…新たな環境で生き生きと活動する拠点に、ぜひ立寄って下さい。お待ちしております。(むぎピース 鈴木 悦子)

紀の川市公民館とともに 講座を開催しています



ゆめ・やりたいこと実現センターは、2022年度よりマカロニアート、ウクレレ、ストレッチ、書道講座(全11回)を紀の川市生涯学習課とともに企画。延べ100名程の申込があり、受講のみなさんと一緒に楽しく学んでいます。7月10日(日)に開催したウクレレ講座(打田生涯学習センター)では、参加者が楽しく演奏しました。

(ゆめ・やりたいこと実現センター 尾方 千春)

『シラスの会』を開催しています!



紀の川生活支援センターでは、みんなの交流会で、「仕事について知りたい」というメンバーの声から、仕事に関して話せる会、シェア(分かち合い共有する)ライト(光)スマイル(笑顔)の頭文字をとって、『シラスの会』というネーミングをみんなで考え月に一度開催し、情報や思いを共有しています!

(紀の川生活支援センター 片木 美千代)

夏はプール遊びが一番



熱中症アラートが連日発令される猛暑。子ども達は毎日、水遊びをしています。プールには真っ青で、観ているだけでも気持ちのいい水面が広がっています。プールサイドからシャワーが出ています。水中めがねを付けて潜っている園児もいます。今年は直射日光が強いのでタープを張って日よけも準備しました。一番目のグループは9時50分から入り、30分交代で3つのグループが入ります。保育者は朝の園児の体温チェックからはじまり、着替え、シャワー、見守り、そして一緒に遊ぶ役割と大忙し。給食を終えて、昼寝の園児の笑顔とともに、ひとときの休息です。みんなの歓声を聞きながらプールのフェンス越しに、砂場から覗いている子どももいます。プール遊びの苦手な子どもは、楽しそうに遊ぶ友だちから少し離れて「見ての参加」。大きめのたらいに水を張り、水鉄砲や金魚に見立てた赤いキャップの「金魚すくい」から徐々に水に触れていきます。2年、3年越しで感覚過敏な子どもも仲間と一緒にプール遊びに興じます。

(第二こじか園 山口 薫)

作品展「障害のある人たち」の表現 2022

2022年9月19日(月・祝)～30日(金)

9:00～18:00(最終日16:00まで)



海南駅構内1F 海南市物産観光センター内ギャラリー

障害者の皆さんが、アートを楽しむ中で生まれた魅力ある作品です。
是非 お楽しみください。

共催: わたぼうしくらぶ/共助のまちづくり協会/社会福祉法人一麦会<おぎピース・和歌山生活支援センター>
連絡先: 共助のまちづくり協会 090-8533-1938(島 久美子)

ヤマト福祉財団様 お礼



ヤマト福祉財団様よりいただきました「新型コロナ感染症臨時助成金」により、食品加工場増床事業が完了いたしました。これにより成長が見込まれる食品加工事業で仲間と共にさらに力を尽くしてまいります。ヤマト福祉財団様、そしてご協力賜りました関係各位に感謝申し上げます。(ソーシャルファームもぎたて 中原 力哉)

円応教・紀の国教会の皆様 ありがとうございます!

円応教の皆様から、4万円のご寄付を頂きました。

コロナ禍の中において、大変な状況にも関わらず、今年もご支援してくださいました。

こじか園の遊具の購入等大切に使用させて頂いています。

円応教紀の国教会の皆様、本当にありがとうございました。

(ソーシャルファーム ピネル 山本 哲士)

むきのひと



麦の郷印刷
岡崎 宏江

私は、4月に麦の郷印刷の施設長になりました岡崎宏江です。
先日、私の職場である麦の郷印刷の事務所にお越しになったお客様から、嬉しいことばをいただきました。「こちらでお願いしてよかった」。

麦の郷印刷では、編集・校正・印刷・加工・後加工(封入作業等)・配送・事務処理など各工程でメンバーさんと職員が活躍しており、このことばを聞くことができたのは麦の郷印刷のみんなのおかげです。私も日々感謝しています。『みんなのおかげで最高のことばをいただくことができました。ありがとう』。

1991年6月 障害者自立工場 印刷部 現「麦の郷印刷」が開始され、今年31年目を迎えることができました。これもひとえに、地域の皆様方に支えていただいたおかげだと思っています。ありがとうございます。そして、私の務めはみんなのしあわせの数値をあげるための環境づくりをすすめていくことです。

40年にむけてあゆみ続けていく麦の郷印刷をこれからも応援よろしくお願ひします。

12月15日(木)まで受け付け中

年賀状印刷
承ります

麦の郷印刷

TEL.073-464-3707
FAX.073-464-3708